

令和4年度第1回さいたま市生活習慣病予防学校検診検討委員会 審査結果

審議事項に関する結果

審議事項	承認	不承認	結果
審議事項第1号 委員長及び副委員長の選任について	19票	0票	承認

委員から寄せられた意見等

○その他自由記述

<ul style="list-style-type: none"> <li>・そろそろ対面の会議を考えて下さい。</li> <li>・予定が決まった場合は、1～2ヶ月前に日程の連絡をお願いします。</li> </ul> <p>⇒令和4年度第2回の検討委員会は、対面を予定しております。正式に決まりましたらご連絡します。（健康教育課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の速報値が悪化しているのが心配です。新型コロナ流行があるので、今のところ対策としては広報活動が主体となると思います。流行終了後に改善策を対面で相談できるようになると良いですね。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に異論ございません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度で肥満傾向が改善をみせたのは良かったですが、令和4年度ではまた増加傾向とのこと。特に低学年で大きいのはコロナ禍の影響でしょうか。</li> <li>・個別指導が復活してよかったです。学年を絞らざるを得ないのは残念ですが、仕方ないですね。低学年に絞るのは良いことと思います。予約管理等お手間だと思いますが、よろしくお願いします。</li> <li>・10月に受診勧奨してくださるのも、保護者の背中を押すことになってとても良いと思います。よろしくお願いします。</li> </ul> <p>⇒コロナ禍の影響もあると感じています。学校生活に制限もあると思いますので、自宅で容易に取り組める運動等、考案・提案する必要性を感じました。（健康教育課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果及び資料のまとめと作成ありがとうございます。</li> <li>・小学校1～3年生の肥満度50%以上への専門機関への受診勧奨者の受診率の低下がとても気になりました。なぜ受診しなかったのか、その理由を精査する必要性を感じました。その理由はおそらく、肥満に繋がる要因と類似しているかもしれません。コロナ禍はなかなかおさまりませんが、少しずつ対面で検診を受けない理由、受診しない理由、肥満に対する保護者の思いなどを聞き取り、個別のアプローチを検討してもよいかもしれません。</li> </ul>

・小学1年生（肥満度50%以上）の専門機関への受診率が大幅に減った理由が何なのか気になります。受診勧奨の方法を変えたりしたのでしょうか。

⇒受診勧奨方法は変えておりません。令和4年度も専門機関への受診率が低かった場合、アプローチ方法を変更します。（健康教育課）

・コロナ禍では、対象率が増加していたが、その後、対象率が下がり、コロナ流行前に戻りつつあるということで、安心しました。

・学校現場でも、制限のある中、できることは何かを探しつつ、体力を落とさないよう、取り組んでいます。

・たくさんの資料、ありがとうございました。

・今年度も、高度肥満児童の専門機関への紹介を取り入れて頂き大変良かった。児童が継続的に医師に指導を受けることができ、かつ校内指導を継続するきっかけにもなっているため、効果的だと感じる。

・実施要項文書の発出時期を早めて頂きたい要望が、各区の養護からたくさん届いている（具体的には、1か月程度）。6月中に参加希望を取り終え、1学期中に面談や取り組みを開始できると、効果も出やすいと考える。

⇒令和5年度から、対象者の抽出を教育委員会で行わず各学校で対応を予定しております。5月中旬までには参加希望者の依頼文を発出させていただきますので、1学期中に面談や取り組みを開始できると存じます。（健康教育課）

・さいたま市生活習慣病予防学校検診検討委員会の開催・運営をありがとうございます。

・今年度より検討委員になりました。よろしく願いいたします。

・さいたま市生活習慣病予防学校検診について、さいたま市養護教諭部会で課題ととらえていることのひとつは、基本検査の受診率がなかなか上がらない事です。（特に肥満度が高い特に指導が必要と考えられる児童生徒が受診を希望しない実感がありましたが、小学校では肥満度50%以上で直接医療機関に行くことになり改善しました。）

このことについて、改善策として「保護者への通知が現状よりも少し早く6月中にできるとよいのではないか」という意見が多く寄せられていましたのでお伝えいたします。

また、チャレンジカード・面談の取組みについて「プライバシーや心の負担への配慮に苦慮している」「様々な工夫を試みているが結果に結びつけるには難しい」「学校の栄養士や養護教諭が指導を行うことが保護者への生活指導と捉えられることがあり、学校外（医師・栄養士等）で実施して欲しい」等の意見・感想がありました。

⇒令和4年度まで学校に身長・体重をエクセル等に入力してもらい、集計して対象者を各学校にお知らせしておりました。令和5年度から、身長・体重の管理が学校のシステムに統一されることにより、各学校で即座に対象者抽出ができるようになります。そのため、発育測定が終わり、システムに入力が終わった学校から保護者へ通知が出せるようになりますので、令和4年度以前よりも早く保護者へ周知できると存じます。（健康教育課）

- ・従来の方法から検討を重ね変更しての実施がどのような結果がでるかとても関心があります。
  - ・栄養指導を行う立場として、各地区の希望者数を遅くとも地区別事前打合せ会2週間前までに地区リーダーに連絡いただかないと、当日指導にあたる栄養士確保の調整が困難になります。(地区別事前打合せ会には当日指導にあたる栄養士も出席するため。また、40名確保は今時点で難しい状況です)
  - ・今年度の検診がスムーズに進むよう、早めの報告・連絡・相談をお願いします。
- ・資料作成、送付ありがとうございます。
  - ・コロナ禍で肥満度が高い児童生徒が増えているのが分かりました。新体力テストの結果も落ちてきているので、各学校の体力向上委員会で、新体力テストの結果を分析し、体育的活動や体育授業の流れ、準備運動の内容等を見直していく必要性を感じています。